

電験 3 種専用 体系的電気公式集スペシャルバージョン

ファイルを開くためのパスワードは製品版と同じです。

この公式集は、製品版の公式集と比べて、公式そのものに違いはありません。

唯一の違いは、2007 年～2011 年に実施された過去 5 年間の試験で、問題を解くためにどの公式を必要としたかが分かるようになっていることです。

製品版では出題頻度が記号のみ(1990 年～2010 年の試験より算出)で表示されていますが、スペシャルバージョンでは記号の下に過去 5 年間の出題回数が数字で表示されています。これにより最近の出題傾向が具体的に分かります。

出題回数のカウントは、B 問題の場合、(a) (b) それぞれで同じ公式を使用しなければ解答できない場合は、2 カウントとしています。

そのほかの注意点としては、機械公式集の誘導機の場合、公式の数値との混同を避けるため、①②など○で囲った数値で表示しています。

また、機械公式集の論理回路の場合は、「4 回出題」と表記しています。

理論の試験で理論の公式を使用した場合は数字のみの表示ですが、電力の試験で理論の公式を 2 回使用した場合は、理論の公式に「力 2」と表示しています。あと、機械の場合は「機 2」、法規の場合は「法 2」、逆に理論の試験で電力の公式を使用した場合は電力の公式に「理 2」と表示。これにより、どの公式が他の科目とオーバーラップしているかが分かります。

このスペシャルバージョンにより、“過去 20 年の出題傾向”と“最近 5 年間の出題傾向”の両方が分かるようになっています。参考にしてください。

< 追伸 1 >

過去 5 年の出題回数が “5、4、3” は、過去 20 年の A ランクに属しています。

これらは他の A ランクと差別化をするため、S（スペシャル）ランクと位置づけてください。

<追伸 2 >

当方が発行しているメルマガでかなり重要なことを書いていますので、コピペしておきます。ぜひ、参考にしてください。

↓

【目次】

1. 理論科目は難しく時間が足りない!?
2. 過去問の答えだけを暗記していた。だから・・・

-
1. 理論科目は難しく時間が足りない!?

【受験者からのメール相談】

○2011 度の電験 3 種を受験し、電力、機械は科目合格（自己採点）ですが、理論が試験場で解けず、不合格となってしまいました。（法規は今回免除です。）

某ビデオ通信教育と違い、科目合格が取れたのはこのマニュアルのおかげです。

しかし、肝心の理論が過去問は解けても、試験場の新しい問題は文章を読むのに時間が掛かり過ぎてしまい、さらにあせってしまうという状況で 40 点にも届きませんでした。

来年度も受験しますが、法規が復活してしまいます。

このマニュアル購入後の一発合格を目指していたのですが、このマニュアルでの受験2年目に向けて、学習のアドバイスを戴けると大変有難いです。特に、理論科目が、合格点を取れるようにするにはどうしたらよいでしょうか？来年で、9年目の受験ですが、あきらめず、頑張ります。

ちなみに、今年学習は・・・

某ビデオ通信教育のプリント250枚を6回程度繰り返し、(添削指導のため、丁寧に書かねばならず、4ヶ月かかりました。)その後、過去問が解けないので、マニュアル3.5ヶ月のものを参照し、突破演習も5回以上は繰り返し、過去問も何度もときました。(しかし、解けない問題はいくつかありましてし、試験までに完璧に終わらせられませんでした。)音声データは通勤自動車の中で常に流して聴き、文章問題は1ヶ月前にお勧めの参考書を読んだだけです。

来年は、もう通信講座の再入学はやめようと思います。(5年以上掛かっても合格できず、時間ばかり掛かり、ビデオを一から見直すと時間が掛かりすぎて、失敗するので・・・)

お忙しいところ恐縮ですが、よろしくお願い致します。

●「電験3種専用公式集 スペシャルバージョン」は、もうダウンロードされましたか？これを尋ねる理由は、この後の文章を読めば分かると思います。

平成23年度の電験3種試験は、合格基準が理論科目52.44点以上、合格率が5.5%と、いずれも最低でした。

さて、理論科目についてですが、一昨年ぐらいから出題内容にある傾向がある事に気付きました。去年までは半信半疑だったのですが、今年の試験をみてある程度確信できました。

それは、「公式の意味や基礎知識」をしっかりと理解しているかどうかを試す問題が増えたということです。

つまり、公式を覚えたり、過去問を解くことも重要ですが、お勧めの参考書で公式の意味や基礎知識もしっかり学習しておかなければ解けない問題があるということです。

ただし、参考書をくまなく読む必要はありません。

なぜなら、「公式の意味や基礎知識」を試す問題は、出題される項目が限定されているからです。

実は、一昨年試験を見てから、出題される公式のデータを詳しく取り直しました。

その結果、公式の意味や基礎知識を問う項目は限られているということが分かりました。

それを数値化してまとめたものが、「電験3種専用公式集 スペシャルバージョン」です。

この公式集を活用するポイントは、出題カウントが“5、4、3”の公式は、そこに該当する参考書の項目を読んでしっかり理解することです。

前回のメールで、今年の問題を見てから回答します、と申し上げたのもこのためです。

↑

相談と回答はココまで

どうでしたか？

かなり、大事なことを書いているので、参考になったと思います。

「近年の理論は難しく感じる」という感想はそのほかの人からもいただいています。

だから、来年「理論科目」を受験される方は、しっかりと対策をしてくださいね！

教材購入者以外の方は、「電験3種専用公式集 スペシャルバージョン」をダウンロードできませんが、過去5年間分の出題傾向は自分で調べられます。

これから勉強を始める方は、自分で調べるのは難しいと思いますが、受験経験者ならできると思います。

調べると分かりますが、ほぼ毎年出題される「公式の意味や基礎知識」を理解していないと解けない問題は、たった”7公式と4項目（単元）”だけです。

これらは参考書でしっかり理解しておいてください。

2. 過去問の答えだけを暗記していた。だから・・・

過去問の答えだけを暗記していた。試験では全く歯が立たなかった！
これは今でもよく聞きます。

過去問の解答手順を暗記しても、本試験では全く役に立ちません。
これはこのメルマガでも何度言っています（もちろん教材にも記載）が、合格できない人は、必ず解答手順を暗記して試験に臨んでいます。

そして、撃沈！？

電験3種では同じ問題は出題されませんので、過去問の解答手順を覚えても無駄なのです。

しかし、無意識に解答手順だけを覚えてしまう。
この”無意識に・・・”というのが曲者です。

多くの人が無意識にやってしまう、だから過ちに気付かない。

実は、私もやったことがありました。
無意識に・・・恥

では、過去問を解くことは無駄なのか！？

いいえ、問題の文言から公式を連想するトレーニングには大変有効な手段です。
答えを覚えるのではなく、「文言→公式」の組み合わせを覚えてください。

但し、近年これだけでは解けない問題が出題されています。
それが、「1. 理論科目は難しく時間が足りない！？」に書いてあることです。

繰り返しますが、ほぼ毎年出題される「公式の意味や基礎知識」を問う問題は、たった”7公式
と4項目（単元）”だけです。
ここだけをしっかり抑えておけば、あとは「文言→公式」のトレーニングだけでいけます。

以上です。